愛ちゃんがゆく！ ―県議体験記―

第23話 娘からの言葉

議員になった時に2歳だった次女も、はや小学2年生。最初の数年は議員活動と子育ての両立で綱渡りのように大変でしたが、6年経ちずいぶん落ち着いてきました。最近は私の活動に関心を持ってくれて、一緒に手話を勉強したり、オンライン会議をそばで聴いていたりします。先日、ふと次女が「お母さんがギインしててよかった」と。「なんで?」と聞くと、「たくさんいろんな人と話したり、オンラインしたり、いろんなことをしていていと思うから」と。思わぬ言葉をかけられ、安心するやら励みになるやらでした。

高2、中1、小2の3兄妹。今回の4コマ漫画は長男が描きました。

ヤギのいる小学校

イラスト：テツト

おおつかあい・プロフィール
1974年1月10日生まれ。旭操小学校、操南中学校、岡山朝日高校、岡山大学教育学部卒業。99年より福島県で農業研修。4年間の大工修業の後、自宅を建て、大工として働く。2011年3月福島原発事故により一家で岡山に避難。5月「子ども未来・愛ネットワーク」を立ち上げ、避難移住者のサポートや福島の子ども達の保養受け入れなどを行う。北区建部町に夫、3人の子どもと暮らす。2016年から県議会議員。

大塚愛 いっぽ通信

岡山県議会議員
大塚愛 県政レポート［第23号］
発行：2022年7月（2022年6月議会報告）
–
最新情報を発信しています
Facebook:
・みどり岡山
www.facebook.com/greenokayama
・大塚愛
www.facebook.com/ohtsuka.ai.3
みどり岡山ホームページ：
http://midori-okayama.org

日々のうごき

2022年4月～7月

- 4.2 御津残土処分場計画の説明会
- 4.4 高校居場所カフェ振り返り会
- 4.5 和気町長選挙出発式
- 4.6 NPOもみの木設立準備会
- 4.8 長女の中学校入学式、高校進学アンケート調査の話し合い@ノートルダム清心大学
- 4.9 加茂川ホリデイフォレスター総会、ほんじもよぉ語り@Nishilma25
- 4.11 金川まちおこしプロジェクト（瀧善三郎公）のお話
- 4.12 みつカフェ。@ぐるーん・岡山御津高校、たけべ中学生だっぴ実行委員会
- 4.13 子ども支援の調査について@岡山県＋おかやまNPOセンター
- 4.14 たねをまもる会おかやま総会@高松公民館
- 4.15 常任委員会（農林水産委員会）
- 4.17 青パト講習会
- 4.21 みどり岡山会議
- 4.22 いっぽ通信プラス動画収録、観音寺用水のホタル環境観察
- 4.23 福島みずほさんお話会@コットン古都 夢、バブリック友の会設立総会、「かば」上映会
- 4.24 海ごみクリーン大作戦@与島
- 4.25 農薬使用についてのお話@JA勝田、ぐるーんWS打ち合わせ@ももその学園
- 4.27 「中国残留邦人」の展示会@市役所
- 4.28 常任委員会（農林水産委員会）、「緑と水の道」会議@絵図町公会堂
- 4.30 竹の子掘り@御津大野
- 5.3 吉備高原音楽市場町かどコンサート、吹奏楽演奏会@建部町文化センター
- 5.4 ヤギ牧場顔出しパネル制作
- 5.5 有機農業アンケート調査会議@たねをまもる会おかやま、日韓文化交流フェスタ@北長瀬、「ブラザーズドッグ」原画展
- 5.6 「緑と水の道」の協議@県庁・岡山市役所
- 5.7 親子でキャンプ@高知県
- 5.10 建部中学校「たけべ部」ミーティング、みつカフェ
- 5.12 金山再生プロジェクトの見学
- 5.13 Vネットおかやま総会
- 5.15 アースデイ@天満屋、DV防止サポートシステムをつなぐ会・岡山総会
- 5.16 県議会臨時会
- 5.18 委員長会議、若年女性支援の協議@ぐるーん+さんかくナビ、児童虐待事例研究会
- 5.19 常任委員会（環境文化保健福祉）
- 5.20 決算特別委員会、たけべ家おこしプロジェクト理事会
- 5.21 旭川水質調査@AR-net、jamtanおはなし会@サニーデイコーヒー、みつ元気プロジェクト@御津公民館
- 5.23 子ども未来・愛ネットワーク総会、映画「杜人」@円結
- 5.24 常任委員会、みつカフェ、備前県民局事業説明会、竹枝を思う会
- 5.25 高校進学アンケート報告書打ち合わせ、DC準備会@たけべ八幡温泉
- 5.26 常任委員会
- 5.27 STOP!気候危機全国ネット発足式
- 5.28 手話講座@建部町公民館、エールマーケット@御津公民館
- 5.29 福祉オンブズおかやま総会、公立夜間中学を求める会総会、ホタル観賞会@竹枝小学校、NPO3・11ツナグ定例会議
- 5.30 おかやまエネルギーの未来を考える会総会
- 5.31 操南中学校断熱改修ワークショップ準備会
- 6.1 6月議会開会、居場所カフェのお話@鳥城高校
- 6.3 代表質問（柳田議員）
- 6.4 (05・11)まび重機ワークショップ受講
- 6.6 (～15)一般質問 6/14に登壇
- 6.16 決算特別委員会、後楽館中学高校運動会、「緑と水の道」会議
- 6.17 常任委員会、県政広報テレビ打ち合わせ、NPOもみの木設立総会
- 6.18 VSCO総会、岡山県中学校吹奏楽発表会、NPOポケットサポート総会、
- 6.21 6月議会閉会、みつカフェ。
- 6.22 朝トレ見学@御津高校、建部中学校「たけべ部」
- 6.24 たけべ家おこしプロジェクト総会、キウイ選定@竹枝小
- 6.25 若年女性支援の研修@さんかくナビ
- 6.26 福渡駅アートワークショップ
- 6.27 &Gardenエディブルエデュケーション岡山研究会訪問
- 6.28 ひだまりカフェ@吉備中央町豊野、たけべ部
- 6.29 強度行動障害部会傍聴
- 7.1 みどり岡山総会
- 7.2 岡山市移住定住支援協議会、おかやま現代eco art祭、フラワーデモ全国会議

［事務所］
〒700-0971
岡山市北区野田5-8-11
Tel:086-244-7721
Fax:086-244-7724
e-mail:info@midori-okayama.org
http:/midori-okayama.org/
［自宅］
〒709-3122
岡山市北区建部町吉田321
携帯:070-5056-3808
e-mail:ai.raku@shokan.jp

おおつかあい 大塚愛 いっぽ通信

県政レポート（2022年7月発行）［第23号］

ゼラニウムの花言葉：尊敬、信頼、決意

P.02-03 高校の特別支援教育を高める
P.01 災害支援の重機ワークショップに参加して
P.02-03 おもな活動記録から「配慮が必要な子どもの高校進学／有機農業」
P.04 愛ちゃんがゆく！―県議体験記―／日々のうごき（2022年4月～7月）

今年は6月中に梅雨が明け、7月から真夏の暑さになりました。また、参議院選挙中には安倍元首相が銃撃される事件がありました。国内外の情勢が落ち着かない状態がありますが、憲法改正や防衛費倍増を進める動きには反対です。武器を買う防衛費より、将来世代の教育や暮らしを支える予算こそ増やすべきだと思います。

7月には西日本豪雨から4年を迎えました。真備地区を訪れる度に、町ごと泥色に染まった当時を思い出し、被災された方達の痛みや教訓、復興への願いを思います。

6月には重機を使うためのワークショップが真備で開催され、私も3日間参加しました。災害重機のボランティアは近年各地で活動が増えており、土砂が流れ込んだ住居や農地をより早く復旧させるために必要とされている作業です。広島の土砂災害では重機を調達しても操縦できる人が足りなかったということもありました。

レバーでアームを動かし、車体を傾けるところ。初めはおっかなびっくりでしたが、慣れてくると面白い。もちろん安全第一です。

「まびタケノコ重機隊（仮称）」が結成。今後も練習をしていく予定です。

3トン未満の重機を操縦するための学科と実技を受け、3日目には東北から災害支援団体（オープンジャパン）の方が来て下さいました。実践研修では、車体を傾けたり、障害物を乗り越えたり、石を運んだりと、いろいろな操作を教えてもらいました。講師の方は、東日本大震災に被災された経験もあり、「どんな災害が起きても必ず立ち上がれる。そのことを伝えるためにも、自分たちで動ける力をつけていきましょう」と言われました。一緒に参加された真備の方達も、当時ボランティアに助けられた経験から、「今度は自分は出来るようになりたい」と言われ、災害の教訓を自分たちの力に変えていくことの大切さを感じました。

6月議会で取り上げたことから

高校の特別支援を高める

「いっぽ通信Plus!」動画はこちら

耐震化工事のために6月から仮の議場に移り、少し学校みたいな雰囲気になりました。

配慮が必要な子どもたちの高校進学

発達障がいなど特別な配慮が必要な子どもが増える中、中学卒業後の進路を考えるにあたっては様々な悩みや不安があります。今年オンラインで調査を実施したところ、県内16市町村から157名の方からたくさんの意見が寄せられました。

詳しくはこちらをご覧ください
「配慮（支援）が必要な子どもの高校進学について調査報告書」▶

Q. 現在の学校でのお子さんの様子と、学校での理解を尋ねた項目では、学校で障がい特性が十分に理解されていると感じている人ほど、楽しく登校できていて、逆に専門的な支援が不十分と感じている人ほど、楽しく登校できず、学校を休むことが多い傾向が見えます。依然として多い不登校の対策のためには、小中学校の特別支援教育の対応力をあげることが不可欠だと思いますが、どのように取り組みますか。

A［教育長］. 教員研修や特別支援教育の免許取得を進め、障がい特性の理解促進を務めていきたい。

Q. 発達障がいがある生徒が不登校傾向になっているけれど、校内の話し合いだけでは解決できていないケースも多いと思われます。そういう場合には必ず特別支援学校の先生に相談する（センター的機能）という仕組みも必要ではないですか。

A［教育長］. そのような専門家に繋ぐという対応が進むように、しっかり指導していきたい。

Q. 個別の教育支援計画については、学校で作成されてコピーまでもらっている方がいる一方、作成されているかどうか分からない方が多く、中には希望しても内容を見せてもらえなかったという声もありました。県教委では、支援が必要な子どもに100％作成できているとしていますが、対応が十分ではないのではないかと思いますが、いかがですか。

A［教育長］. 個別懇談などで保護者と十分に話し合った上で作成や見直しをするように、市町村教委や学校に指導している。保護者に丁寧に説明し、十分共通理解ができるように指導していきたい。

Q. 高校進学について悩んでいることで最も多かったのは、「発達障がい等への理解や配慮のある学校の情報が少ない」、「高校入学後に個別の支援を受けられるかどうか不安」ということでした。赤磐市では、特別支援教育のニーズがある子どもの進路についての説明会*を開催されていますが、このような機会を求めている方は全県におられるので、県による協力や開催を検討してはどうですか。

＊はるいちごの会
赤磐市障害者自立支援協議会

A［教育長］. 赤磐市と協議して可能な協力をしていきたい。

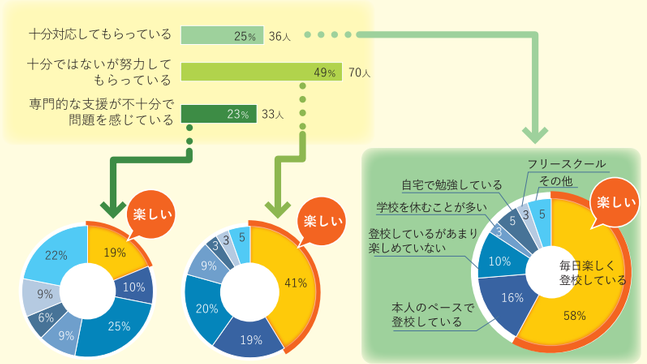
Q. 県が不登校の生徒のために開催している進路説明会は、特別支援的な対応をしている高校が多く参加していますが、特別支援にかかわって悩んでいる方にはこの情報が伝わっていません。

A［教育長］. 今後そういう方にも情報が届くように、また特別支援の内容にも対応できるように工夫していきたい。

Q. 高校に望むこととしては、「本人にあう合理的配慮について先生と相談できること」を望む声が多かったですが、これは現在、特別支援学校の先生が県立高校をまわって相談に乗って下さっている取り組みでも改善が期待されます。また、大分県のように各高校で実施できる合理的配慮のリストをHPに掲載するなどできれば、もっと相談がしやすいと思いますが、いかがですか。

A［教育長］. 大分県のようには考えていないが、高校の専門性は根本的に高めないといけないと思っている。入学の際に本人や保護者に合理的配慮の具体例をちゃんと示せるようにしたり、各高校の合理的配慮の事例をすべての県立高校に情報提供して、教員が共通認識を持てるようにしていきたい。

Q. 現在通っている学校での障がい特性への理解や支援



有機農業について

Q. 国はみどりの食料システム戦略を打ち出し、2050年までに化学農薬を50％、化学肥料を30％減らし、有機農業の取り組み面積を25％まで拡大するという大きな目標を掲げました。この戦略は、これまでごく少数であった有機農業を大幅に増やそうとするものですが、それだけではなく、これまでの慣行農法についても変えようとするものだと思いますが、慣行農法に求められる変化をどう考えていますか。

A［農林水産部長］. 土壌診断に基づく施肥量の低減や、耐病性品種の導入による農薬の低減など、環境に配慮した農業生産が求められるものと考えている。

Q. 有機農業の栽培面積拡大にあたっては稲作も大きな要素です。木村式自然栽培は、肥料の高騰、米価下落の影響を受けておらず、さらなる需要もあると聞いています。新規就農者へ情報提供を行ってはどうですか。

A［農林水産部長］. 木村式自然栽培については、土壌の化学肥料の残留がないなど一定の基準を満たす場合は、新規就農者に情報提供など行っていきたい。

Q. 県内の有機農業を営む方に行った調査では、営農のための課題として消費者の理解、栽培技術の向上、販路開拓が挙げられていますが、どのように取り組まれますか。

A［農林水産部長］. 県としても同様の課題を認識しており、生産者や消費者を対象にしたバスツアーによる見学会、栽培技先進地研修会や、取扱店や料理店に対する販路拡大に取り組んでおり、こうした取り組みを積極的に進めたい。

Q. 新規就農者の研修体制は。

A［農林水産部長］. 就農相談会で、有機農業専門のブースを設けたり、早期に技術習得ができるよう、生産技術公開圃場を県内3カ所に設置している。

おもな「活動記録」から

子ども支援の意見交換
@岡山県+おかやまNPOセンター
（4月13日）

貧困や虐待、引きこもりなど、さまざまな困難を抱える子ども達をサポートする居場所や支援団体は県内各地にありますが、その全体像を把握し、その情報を関係者が共有する仕組みはまだ十分ではありません。そのような課題に応えて、おかやまNPOセンターでは今年県内の実態調査を始められることになりました。この調査は県との連携や協力も大事なので、関連する課（男女共同参画青少年課、子ども家庭課、生涯学習課、人権教育・生徒指導推進室）の課長さんにも参加していただき、意見交換の会をしました。県など行政と、NPOなど民間支援のネットワークがうまく連動することで、誰ひとり取り残さない、誰かにつながりやすい社会にしていければと思います。

子どもに関わる行政や民間支援がしっかり連携できるよう、顔をあわせた会議ができました。

おかやまDC（デスティネーションキャンペーン）
@たけべ中学生だっぴ実行委員会
（6月26日）

7月から桜の観光列車が走る建部では、列車が停車する福渡駅で、お客さんに特産品セットをお届けしたり、「福ふく市」（第1・3日曜10～13時）を開催したりして、おもてなし企画を盛り上げているところです。また、子ども達も一緒に何か出来ないだろうかと話しあい、水彩画家のおかだ美保さんと福渡駅に飾るアートを創ったり、建部の良さを紹介する動画を中学生と作成したり、総社南高校の生徒さんに顔出しパネルを制作してもらったり、いろんな企画を進めています。2年にわたるコロナ禍で地域活動も停滞していたところですが、ワカモノに力を借りつつ、観光で地域を盛り上げていきたいと思います。

娘たちと参加して、建部の自然や元気を表現しました。

＊質問と答弁の詳細は、岡山県議会のHP『会議録検索』でみることができます。

2022年9月議会の日程：9月5日（月）開会／8日（木）代表質問／13日（火）～16日（金）一般質問／29日（木）閉会